

水道情報活用システム導入支援事業（別府市上下水道局）

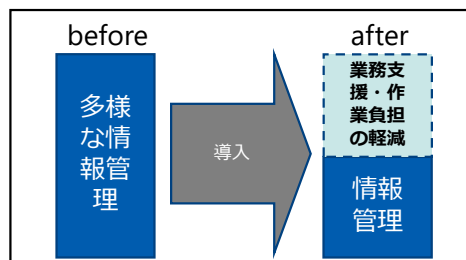
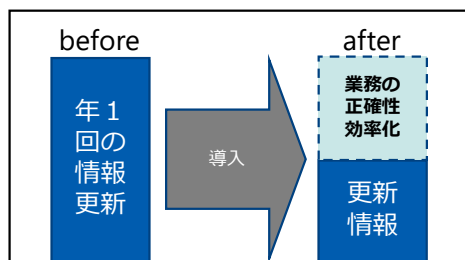
- 令和7年より、統合型GISパッケージを採用した共同利用型の上下水道管路台帳総合システムを導入する。
- 当該事業を通じて、上下水道の一体運用による事務効率改善、蓄積した情報からのPDCAサイクルによる事業の高度化、災害時におけるBCP確保のためのデータの利活用を図る。

事業概要

- 事業期間：令和7年度
- 実施箇所：別府市
- 事業概要：広域連携の取り組みによる効果、水道台帳システムと下水道台帳システムを統合プラットフォームによるシステムの統一による効率化を図り、災害時にはBCP確保のため参加団体との連携を図る。

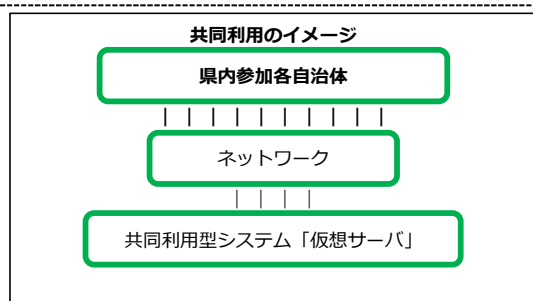
導入により目指す業務効率化

- 現状は、水道及び下水道それぞれで年1回の管路情報の更新委託を行っているが、導入後にシステム更新が可能になれば最新情報の共有が実現し正確性と効率性が向上する。また、適正水圧の管理、断水検索、管網解析などの業務が高度化する。さらに、システムに蓄積した情報は各種の業務支援への利用や職員の作業負担の軽減につながる。



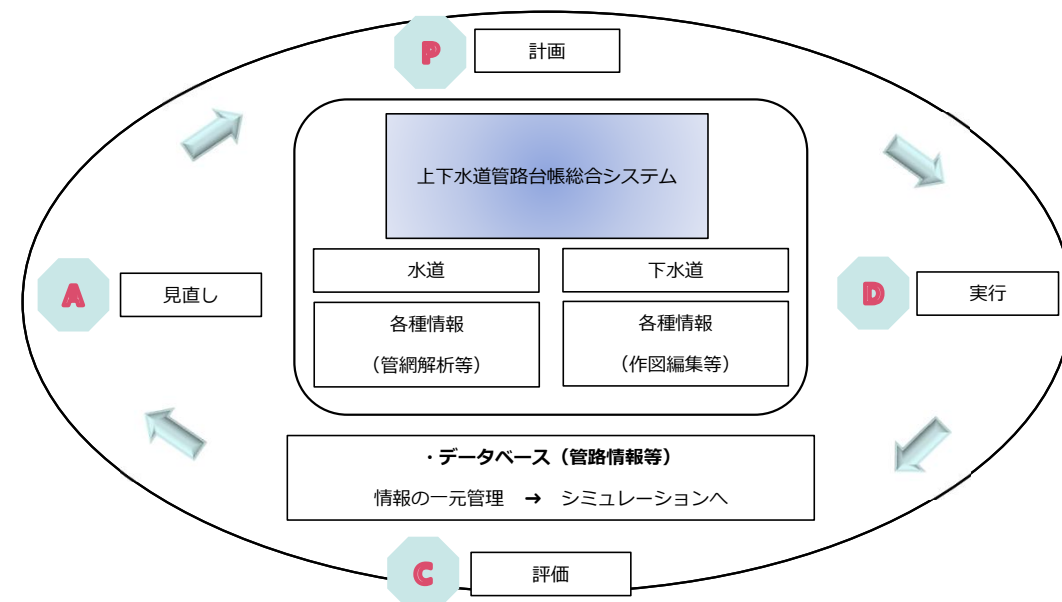
具体的な連携の内容

- 統合プラットフォームの構築により上下水道機能・データベース共に一元管理。
- 平常時は参加事業体ごとのセキュリティ対策に則り相互にデータ閲覧が行えない対策を実施、非常時等には相互情報共有が行えるルールにより復旧支援を行う。



データの利活用・付加効果

- 上下水道管路台帳総合システムを中心に蓄積された維持管理情報を用いて、今後の更新計画等が立案可能なアセットマネジメント・ストックマネジメントへの活用、推進に寄与。



問合せ先

別府市上下水道局総務課経営企画係
TEL:0977-23-3108 / Email: mai-wb@city.beppu.lg.jp